

効果こうかの上がる家庭学習の方法とは

公益社団法人 経済同友会 幹事
林 明 夫
(www.kairin.co.jp)

1. 自己紹介じこしょうかい

- (1) 私の好きな言葉ことば
- ① 一生勉強べんきょう、一生青春せいしゆん
 - ② ブルドッグ 魂たましい 一食ひといついたら離はなさない—
 - ③ 一懸命いつしよけんめい—一つの所で命かを懸けるくらい熱心にものごとに取り組む—
- (2) 私の小学生時代
- ① 草野球好き
 - ② 家の手伝いは割わりとするほうだった
 - ③ 本や新聞はよく読んだ

2. 小学生は何のために勉強するのか

- (1) よく生きるため。
- (2) 大人おとなになってから急に勉強しても、一度には覚えられない。
生きていくうえで大切なことは、小学生から少しずつ勉強する。
- (3) 中学校や高校に行ってから勉強こまで困らないため。
—中学校や高校の勉強は、小学校の勉強が身につけていないとよくわからない—

3. 家庭学習(宿題)の大切さ

- (1) 家庭学習で、学校で習った勉強をしっかりと身につける。
- (2) 家庭学習で、学校でこれから習う勉強よしゆうの予習をする。

(3) 家庭学習の仕方

①すべての科目を、声を出して何回も、何十回も読む。スラスラ読めるようになるまで、声を出して読む。

—教科書やノートは必ず音読する—

②わからない言葉があったら、辞書や辞典で調べる。

—調べたことはノートにメモしておく—

③すべての科目で、書き取り練習をする。

—教科書に出てくる漢字や言葉は、すべて書けるようにする—

④算数の問題は、家で必ずもう一回やり直す。

—できたら、2～3回やり直す—

4. テストでよい点数を取るには

(1)「音読練習」と「書き取り練習」、「計算・問題練習」をくり返し行う。

(2)教科書と授業のノートを何回も勉強し直す。教科書やノートに書いてあることや、教科書に出てくる計算や問題をシミからシミまで覚えてしまう。

(3)学校でやったテストは、家で必ずもう一度やり直す。

—まちがえた問題は、できるようになるまで何回もやり直す—

5. おすすめすること

(1)学校の教科書やノートは捨てないで、ずっととっておこう。とっておいて、ときどき読み返そう。

(2)本をたくさんゆっくり読もう。

①図書室に毎日行こう。

②図書館の利用の仕方を身につけよう。

③自伝もときどき読んでみよう。

(3)新聞を読んで世の中のことを知ろう、自分の力で考える力をつけよう。

・図書館でいろいろな新聞を読んでみよう。

(4)美術館、博物館、公園などに出かけてみよう。

(5)よいところ探しをしよう。家族のよいところ、友達のよいところ、クラスのよいところ、八広小学校のよいところ、墨田区のよいところ、東京のよいところ、日本のよいところをたくさん見つけよう。自分のよいところも見つけよう。

*質問があったら、どんどんして下さい。

保護者の皆様もご遠慮なくどうぞ。